

11/25~26

北海道立北の森づくり専門
学院生が実習に来ました。



岸代表取締役による説明

11月25日、26日の両日、昨年4月に旭川市に開校した北海道立北の森づくり専門学院の1年生39人が2班に分かれて有限会社岸苗畑に地域見学実習に来ました。生徒は貸切バスで到着、町長から歓迎の挨拶の後、岸代表取締役による苗畑の概要説明を受けました。苗畑では苗木の選別作業や苗を容器に植え替える作業を見学しました。また、隣接する社会福祉施設「溪樹園」からの木質バイオマ

スポイラーの夜間の余剰熱源を活用した温床複層エア―ハウスを見学し、ハウス内ではクリーンラーチと呼ばれる樹種の苗木の育成管理について学びました。実習中は活発な質疑が交わされ、回答にメモを取る熱心な姿、かうかがえました。実習を全道各地にて積み重ね、卒業後この経験を活かし、地域での林業担い手の即戦力として活躍が期待されます。

手をつないで舞台でうたいました



11/21

元気いっぱい楽しみました
〜こども園お遊戯会〜

11月21日、町文化センターで、こども園お遊戯会を開催しました。園児は歌、楽器の演奏、遊戯、音楽劇など元気いっぱい披露し会場にきた保護者たちの目を釘付けにしました。お遊戯会は昨年に引き続き、感染症予防を徹底した中で開催となりました。

ばんだ組、きりん組の歌やひよこ組、りす組の遊戯、うさぎ組の歌や楽器と演目が次々と進行していきます。会場にきた観客は演目が終わる度、大きな拍手を園児たちに送りました。最後は、きりん組の園児たちが「赤ずきん」を熱演して終了しました。

12/9

クリスマスは滝上町産の七面鳥で！
〜七面鳥の燻製づくり〜

町内の農業者6戸でつくる滝上町七面鳥生産組合（佐々木渉組合長）の七面鳥の燻製づくりが農産品加工研究センター（滝美町）で最盛期を迎えました。七面鳥は、同組合が飼育から加工・販売まで一貫して生産しており、ハーブを使った調味液に2週間ほど漬け込み蒸した後、桜のチップを使って燻製します。

スモークされた七面鳥は独特の香味に仕上がります。そして、出来た製品は真空パックされて梱包し、クリスマスにあわせて全国のご家庭に発送されます。

※今年には検温や殺菌、消毒など新型コロナウイルス感染症防止対策を十分講じて生産を行っています。



香ばしく仕上げた七面鳥燻製